



南支那及南洋調査第六十輯

比律賓ダバオ州に於ける **邦人産業調査報告**

附 同地在住邦人の保健に関する意見書

臺灣總督官房調査課

始



凡 例

一、本篇は、慶應義塾大學教授醫學博士隈川八郎氏が、臺灣總督府の囑託を受け、實際につき調査せる所に基き報告せるものである。

一、隈川博士は、別に『國策としての南洋移民問題—南支那及南洋調査第百五十九輯』、『比律賓ガバオ蠶業調査報告—南支那及南洋調査第百六十一輯』を提出してゐるから本篇の讀者は、之等の二篇をも併せ讀まれれば利益する所多からうと信ずる。

昭和四年一月

臺灣總督官房調査課

14.25-478

比律賓ダバオ邦人産業調査報告

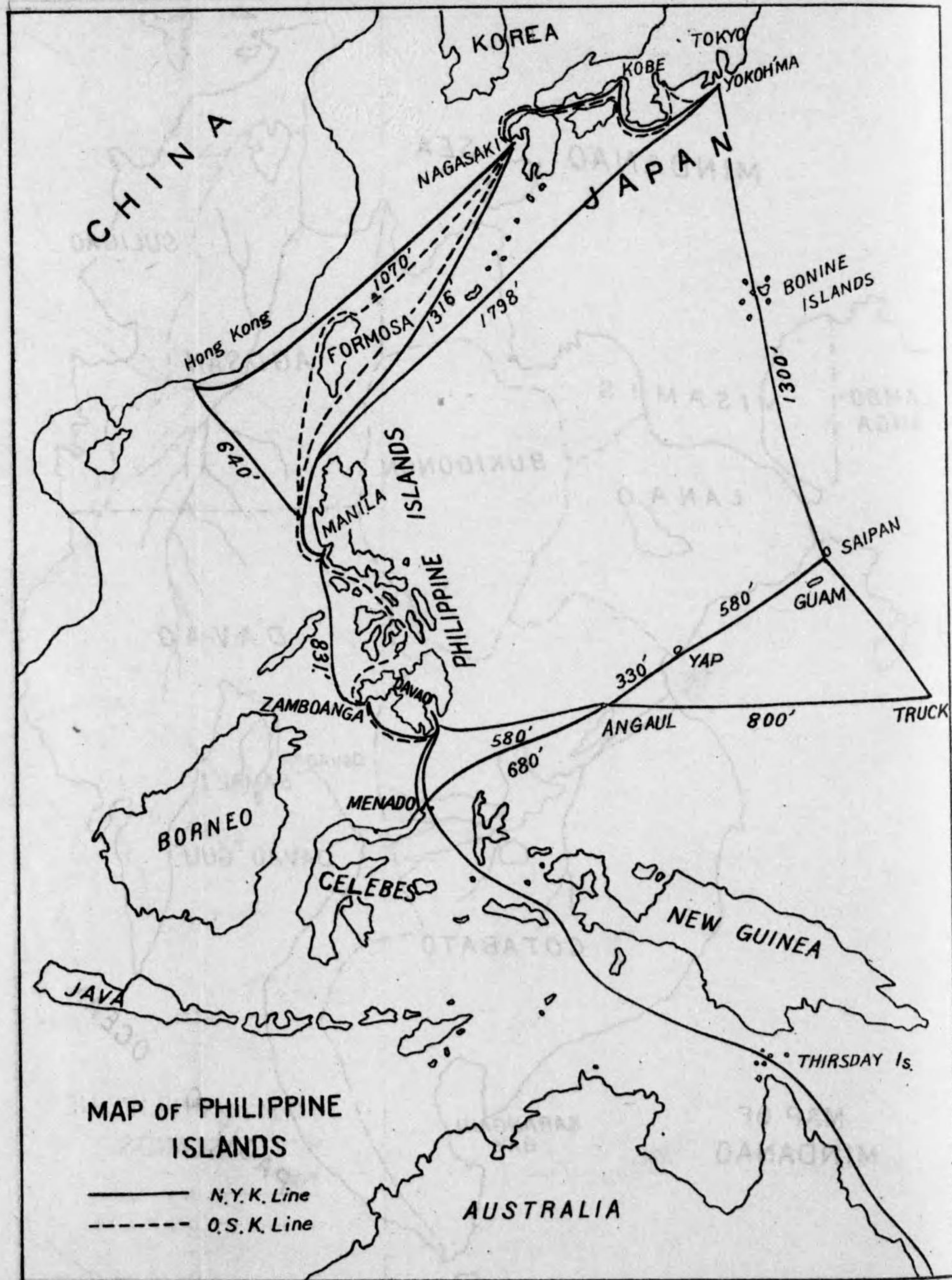
發行所寄贈本

目次

緒論	一
一、位置	二
二、地味	三
三、邦人の産業	三
救急策より見たる四種の新事業	六
第一 養蠶製絲事業	六
第二 マニラ麻纖維工業の副産物を利用して製紙工業又は和紙原料製造事業を起すこと	八
第三 天然森林中より楮、三椶類似の纖維性植物の樹皮を採取して和紙原料を製すること	一一
第四 野菜果樹の栽培を奨励すること	一二



目次



目次

結論.....一三

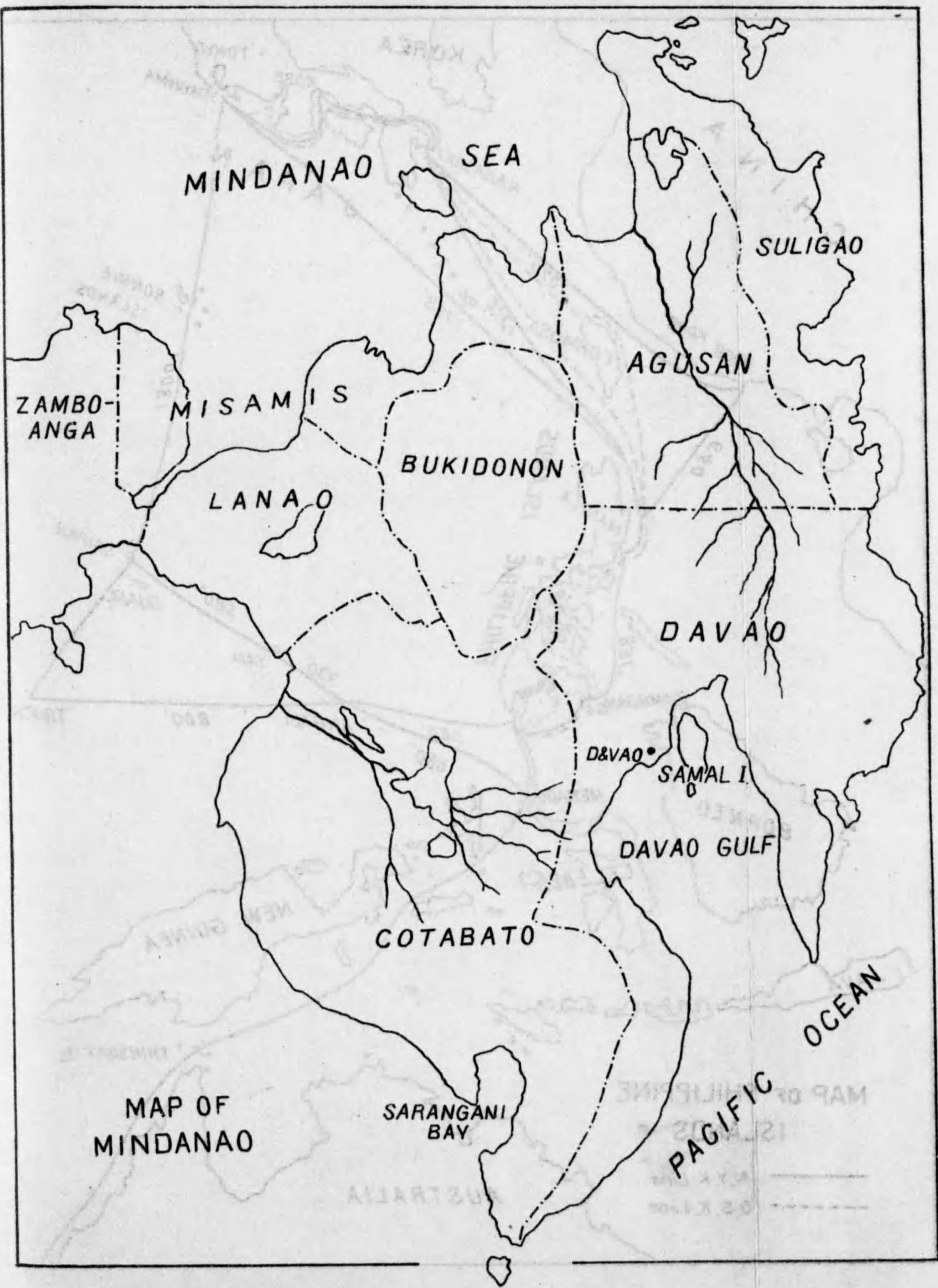
一、産業研究所の必要.....一四

二、金融機關の必要.....一五

三、帝國政府の補助金.....一七

四、ミンダナオ島の開發.....一七

附錄 旋風被害善後策に関するダバオ日本人會々報號外



比律賓ダバオ州に於ける邦人産業調査報告

緒論

我が南隣の友邦比律賓は、臺灣の南端を距ること僅に百哩、汽船航海半日の行程に過ぎざる近距離にありて、大小約三千有餘の島嶼より成り、地味肥沃、氣候温暖、所謂常夏の國にして春夏秋冬なるものなく、一年を通じて我が初夏に相當するを以て、その生産力の大きなること本邦の三、四倍にも達し、その面積約十一萬四千平方哩、舊日本たる本州、四國、九州を合したるよりも稍大なれば、よく數千萬の人口を養ふに足るべきにも不拘、住民未だ一千百餘萬に過ぎずして、その密度は本邦の四分の一以下なり。

故に本邦又は臺灣と等しき程度に之が開發を見んか、今より四倍乃至八倍の人口を有するに至るも裕に之が生活を支持し得る事は、その隣島たる蘭領印度「ジャバ」がその二分の一にも足らざる小面積五萬平方哩中に、よく三千五百萬の人口を養ひ、ダバオに於ける邦人移民が、比島全人口の千分の一にも達せざる一萬人弱の小數を以て、よく比島貿易の輸出總額約三億圓の三十分の一に相當する一千餘萬圓を生産しつゝあるに見ても之を證するに足らん。

ダバオ州はフィリピン群島中の最南、同國第二の大島たるミンダナオ島八州中の一にして、その東南端に位し、面積我が臺灣より稍小なれ共、四國よりは大に(七四八六平方哩)、氣候地味共に良好にして、生産力大なるも住民は未だ十二萬に過ぎず。

而もその内一割近くは本邦人にして、經濟的には殆ど全州の中心勢力をなし、その麻耕地三萬町歩弱の小面積と麻株二千萬株より生産するマニラ麻年産五十萬擔、價格一千餘萬圓にして、同州政府の歳入總額七十萬圓中四十七萬圓を納税してその七割を占め、幅員三間乃至六間を有し自動車を通ずる道路四三四基米中、政府が維持する州有道路は八〇基米なるに、邦人の私有道路は三五四基米にして其の八割を占むるに見ても、邦人が如何にダバオ産業に貢献しつゝあるかを察するに足るべし。

一位 置

ダバオ州は、東徑百二十五度乃至百二十七度、北緯五度乃至八度にして、熱帶圈内にあるも、北西に一萬餘呎の高峰アボ連峰を控へて北西風をさえぎり、東及南は太平洋に面し、州内には我が東京灣の約五倍大なるダバオ灣を抱くを以て、その氣候は一年を通じて平均し、日中は稍暑きも空氣乾燥し、朝夕は涼しきも湿度高き爲め、熱帶地特有の晝夜の温度に激變を見ること尠く、四時初夏

の氣候を呈して極寒酷暑なく、極めて保健に適するも、永住するには變化少きに過ぐるの缺點あり。故に時々本邦に歸朝するか又は高山に轉地するの要あり。

二地 味

アボ火山灰質と沖積土とより成り、甚だ肥沃にして各種の農作物栽培に好適す。

その肥沃の度は、南洋各地に於ても其の比を見ること少く、我が臺灣、ルソン島、ボルネオ島等は遙かに互に及ばず、ジャバ、スマトラ等の最良地帯に匹敵すべし。

三 邦人の産業

邦人の此地に移住せる起原を尋ぬるに、一九〇三、四兩年度に互り、比島政府がマニラ市の近郊バキオに六百萬圓の巨資を投じて海拔四五〇〇尺の高山都市を建設せんとし、彼の有名なるベンゲット道路二十五哩を開鑿するに當り、比島労働者のみにては工事遅々更に進捗を見ざる爲め、邦人千五百人を招致し漸く是を完成したるも、道路工事竣成後、彼等が失業せん事を憂ひ、此の失業者を救はんが爲に、比島移民の先覺者、故太田恭三郎氏等が明治三十七年九月其の中の百八十名を始めて同地に移殖せるに、氣候、地味、雨量等の適良にして、マニラ麻事業の有利なること判明し、

毎船渡航者の數を増し、急速なる發展を遂げたり。殊に歐洲大戰中の初期には、マニラ麻の市價一擔當り五十圓以上を唱へ、邦人労働者の一人當り年收數千圓に達せし爲め、在留邦人一時一萬二千人以上を算したることありしも、戦後その市價十二、三圓臺に暴落せる爲め大打撃を被り、歸國者相踵ぎ、一時的の頓挫を來したることありしも、其後順次復活し、最近に至り、再び一萬人近くを算し、健全なる發達をなせり。然れども、その産業の主なるものは前記マニラ麻なる單一農作物の栽培に限られ居る爲め、生産物の價格變動及び極めて稀に起る暴風雨等により甚大なる損害を蒙り、往々にして經濟的危機に頻する事ありて、健全なる發達の爲に一大障礙をなせり。依つて他に何等か有利なる新事業を起し、又適當なる副業を興へて、かゝる場合を避け、危険率を緩和するを得せしめば、將來同地邦人の發展目覺しきものあるべし。

然るに、昨來末より再び麻市價逐次遞落を始め、本年九月に至り漸くその底に達し、爾後市價昇騰の曙光に認めんとせる際(麻標準品F級一擔當り數年來三十五圓前後なりしもの九月(十二月に入り上り)には二十圓に至り現今は二十五、六圓となれり)去る十月二十六日夜より二十七日拂曉に至る數時間に涉りて、十八年目に、再び襲來したる旋風の爲め麻株約二百萬株を倒壊せられ、損害見積高約百萬圓に達せり。而して之を同地邦人全耕地の二千萬株に比すれば、一割弱に過ぎざるも、場所によりては、その七、八割に近き損害を蒙り、殆んど致命傷的影響を受けたるものもありて、

現在途方に暮れ居る自營者も尠からず。依つて、この際適當なる指導を興へ、副業を奨励して速に被害者を復興せしむるは、南洋に對する本邦の殖民政策上目下焦眉の急務なりと信ず。偕てダバオ州邦人産業の缺點を見るに、

- 1 アバカ又は椰子のみによる單一農業なること。
 - 2 研究機關を缺き農事改良の機會少きこと。
 - 3 在留邦人の多數が農業のみに偏し商工業甚だ幼稚なること。
 - 4 婦人老幼に適する副業尠く、青年男子労働者過多の弊ありて移民落著かず(ダバオ州邦人男女の比五對一)故に婦女子の入國を奨励して男子労働者をして固著せしむる必要あり。
- 故に、之等の缺點を除き適當なる發展をなさしめんが爲には、完備せる産業研究所を設けてその模範を示し、適當なる指導を興ふること必要なれ共、現今遭遇せるこの難局を救済せんが爲めには研究所の設置を待つを得ず。故に直に採用し得べき救急策に次の四種あり。

- 1 養蠶製絲事業。
- 2 マニラ麻纖維工業の副産物を利用して製紙原料製造事業を起すこと。
- 3 天然森林中より楮類似の纖維性植物の樹皮を採取して和紙原料を製すること。
- 4 野菜果樹等の栽培を奨励すること。

以下順次其の要點を報告せんとす。

救急策より見たる四種の新事業

第一 養蠶製絲事業

目下ダバオ邦人の難局を救はんが爲には、最も適當なる産業の一なり。今之が有利なる點を考ふるに、

- 1 養蠶は主として婦女子の勞働を以て足れりとするが故に、麻耕地に働く男子の勞力を割くこと尠く、且家庭婦人勞働の良習慣を養ふを得ると共に、別途收入の道を得て一家生活の安定を得せしむ。故に、養蠶は副業となり得ると共に、新に健全なる家庭婦人の移民を奨励し得ることとなる。
- 2 同地産の絹織物を米國に移入するに際しては、米國領なる爲め關稅を課せられざるを以て、その差額だけにも、他國領の南洋熱帶地方に同事業を企業するより有利なり。
- 3 ダバオの氣候は養蠶に對し適良なるを以て、四時間斷なく繼續的に養蠶することを得（一年間に十二回乃至十八回の養蠶可能なり）。

4 同一面積の土地よりマニラ麻と比較して約十倍にも近き價格の生産を擧ぐることを得。

以上の諸理由によりダバオ産業の發展上大に奨励するを可なりと信ず。

然れども一般に奨励せんと欲せば、先づ養蠶事業が同地に於て可能なりや否やを知り、次にその採算上の適不適を知ること必要なり。然るに、幸ひダバオの篤志家増田梅次郎氏が約四年前より養蠶の可能性につき研究し相當の良成績を擧げ、又本年九月中東京高等蠶絲學校助教佐々木定水氏が文部省の命を受けて視察せられ、同地が桑の栽培及養蠶に適し、製絲業も亦甚だ有望なる事を確認せられたり。尙同氏と同行せられたる三井物産株式會社マニラ支店副支配人池田卓一氏は之につき各種の精細なる研究調査の結果を發表せられたり。

依てタロモの太田興業會社専務取締役宮阪國人氏と共に、これ等の報告を基礎として現狀につき研究調査したる結果

- I 同地在留邦人中には渡航前多少養蠶の經驗を有する者多きこと。
- II 桑葉の生産費は桑の發育極めて旺盛に、且つ肥料を要せざるにより内地の四分の一以下にて足るが故に、繭も亦半額以下にて生産することを得。
- III 蠶室其他の設備は、蠶兒の發育に適せる氣温にして、且年間を通じて平均せる爲め、極めて簡單なる建物にて飼育するを得るが故に、固定資本を要すること尠し。

IV 要するに、只優良なる桑苗及蠶種を送り、有能なる指導者を特派して最新式の養蠶技術を教授せば、容易に養蠶業を普及せしめ得ることを知り、殊に熱帯地なる爲め、桑苗植付後六箇月にして養蠶を開始し、其後毎月一回づつ飼養し得るが爲め、短期間に被害者を復活せしめ得ること判明したるを以て別に詳細に報告せんとす。

第二 マニラ麻纖維工業の副産物を利用して製紙

事業又は和紙原料製造事業を起すこと

マニラ麻(土語アバカ)工業とは、麻とは言へども内地産の亞麻、大麻とは類を異にし、その外觀はバナナに酷似し、臺灣の高地、沖繩又は内地の暖地等に成育する所謂葉芭蕉の一種にして、強韌なる纖維を含有する特殊の植物より、その纖維分を採取する農産加工業の一なり。

この植物は、十五尺乃至三十尺の高さに成育し、一株より普通七八本乃至十數本の幹莖を叢生す。この中より成熟せるものを順次一二本づつ切り倒し麻纖維を採取す。

この幹莖は、バナナの莖に於けると同じく葉柄の集團なるを以て、纖維を得るには、先づ之を根部より切り倒し(土語トンバ)小刀を以て最外部にある葉柄の纖維性皮質を葉肉より剝取り、次に又其の内部にある葉柄の皮質を剝取ること前途の如くす。

かくして四五層をなせる主なる葉柄の皮質を剝取り、幹肉は其の内部に残留せる纖維質と共に耕地内に放棄す。この纖維性皮質を剝取ることを「タクシー」と稱し、放棄せらるゝ葉柄肉を「タクシー殻」と稱す。此のタクシーを工場に運びて簡單なる機械にかけ挽出し白色の纖維物マニラ麻を生産す。

このマニラ麻は、多くはロープ又は和紙原料として用ひられ、その上質なるものは、婦人帽子用又は織物原料として使用せらる。

現在の麻事業は、アバカの重量の約二乃至三パーセント、即ち含有纖維質の約三分の一を利用するに止り、他の三分の二は之を全部タクシー殻及び挽き屑として耕地に放棄す。故にこの廢棄せられつつある纖維物に適當なる處理を加へて、他の工業原料とするを得ば同事業を一層有利ならしむることを得。

又その液汁中には相當量のタンニン、澱粉等を含有するを以て、之を適當に採取する事を得ば是亦重要な副産物を得べし。

偕て、残留纖維物は、ロープ用マニラ麻としては既に之を使用するを得ざるも、之に簡單なる線作を加ふれば、三極、楮等に類似せる優良なる和紙原料を採取し得るを以て、速かに此の事業を起し、ダバオ麻現在五十萬擔の生産に對して、その放棄物百萬擔より半分の五十萬擔を原料として二

十五萬擔の製紙原料を得るとせば、同原料一擔代價三十圓とするも、年生産七百五十萬圓に達する重大なる副産業となし得るものにして、現在放棄物より斯く多額の副収入を穫るを得ば、アバカ事業の採算は非常に有利となるべし。依つて左にその簡單なる製法を述べんとす。

製紙原料の製法

麻挽機械中に残留せる挽屑又は麻畑中に投棄せられつゝあるタクシー殻を、簡單なる屑挽機械にかけて、髓質を除き去り、主なる纖維物を採取し、之れを五乃至十パーセントの苛性曹達液の中に三乃至六時間蒸煮し、後流水中にてよく洗滌してアルカリ分を除き、ビーターに入れて叩解し、漂白粉溶液を以て漂白したる後纖維分を採取し、乾燥すれば既に和紙原料として適當なるパルプを得。

即ち適當なる装置を以てすれば比較的簡單なる操作により製品を得べし。故に先づ模範工場を起して作業を示せば、容易に之が發展を見、數百萬圓の價値を有する和紙原料を製するに至ること長期を要せざるべし。

之れ當にダバオ邦人の副業を奨励して同地在留民を利用のみならず、和紙原料の騰貴（現在楮三、極等の纖維は一擔當り五十圓以上なり）により經營困難に遭遇しつゝある本邦和紙製造業者に、品質優良なる原料を廉價に供給して之を救済するの一助ともなるべし。

第三 天然森林中より楮、三極類似の纖維性植物の

樹皮を採取して和紙原料を製すること

麻竝に椰子事業は、比律賓殊にダバオ州産業の生命とする處なるが、その耕地開拓に際しては、先づ所要面積を開墾するを要す。然るに、既に述べたるが如く、ミンダナオ島は地味肥沃にして雨量も潤澤なる爲め、その森林は鬱蒼として直徑數尺の大木轟々として天を摩し、海岸の平地にして然も人跡未踏の地尠からず。開墾に際しては、之等の大木を先づ切倒して放置し、太陽熱によりよく乾燥せしめたる後、之に火を放ちて焼却し、その後麻苗又は椰子苗を植付け、焼却によりて生じたる灰分は肥料となりて麻の成長を助くるものなり。

然るに、地味肥沃なる同地森林中には、各種の有用植物存在し、殊に發育旺盛なるが爲めに優良なる纖維をその樹皮中に大量に含有する植物も少からず。従來は之等有用植物をも徒に他の雜木と共に灰燼に歸せしめ居たるも、將來は是等の樹皮を剝取り、楮樹皮の加工方法と等しく二三日水中に浸し、後その外皮を去り、次に麻屑より製紙する場合と同様なる機械を利用して和紙原料を製することを得べし。

此の作業は、耕地開墾に際して容易に實施し有利なる副業となすことを得べし。尙椰子にありて

は、その植付後收穫あるまでには七八年を要するものなれば、其の成育に達するまでの期間を利用して前記の植物を間作せば、椰子果實が成育するまでの期間に於ける収入となるのみならず、幼若なる椰子が他の雜草の蔓延による發育の不良又は枯死を防ぐの一助となり、一舉兩得の副業となり得べし。

第四 野菜果樹の栽培を奨励すること

既に述べたる如くダバオ州は地味豊饒にして各種の果樹蔬菜の栽培にも好適せるにも拘らず、本邦人のダバオに移住する者は殆んど凡てが麻栽培に従事し、今やダバオ州の既墾耕地は、その面積を舉げて麻園と化しつゝあり。然るに麻は有利なる栽培業なれども風水害又は旱魃に對する抵抗力弱く、市價の變動激しきを以て、一朝市價の暴落に遭遇し又は天災を被る時は、他の方面に於て生活を支持する道を知らず、多年辛苦の耕地を捨て、歸國を急ぐが如き結果を生ず。

然るに、常に副業として各耕地の一部分を野菜果樹の栽培に充當する時は、かゝる場合に際しても、よく食糧の自給によりて持久耐忍して危機を脱し得べし。殊にダバオは、從來麻の栽培に全力を注ぎ、蔬菜類の栽培を怠り、高價にして滋養分少き罐詰類を多く食し、殆んど蔬菜類を口にせざる如き事すらありし爲め、ビタミンA・B・C等の缺乏を來し、脚氣其他諸種の營養障害を來すこ

とありたり。然るに、同地は元來土地肥沃なる爲め、パパイヤ、レモン、パインアップル、西瓜等の果樹、トマト、茄子大根、葱等の蔬菜類は自然の儘に放置するもよく成長する程なるを以て、適當なる指導を與へて之に今少しの意を注ぎ手入をなし、優良なる品種を試作せば、各戸自家用の副食物となし得るのみならず、美事なる熱帶的果樹園又は菜園として一つの獨立したる産業となし得べし。従つて、之れを各耕地に安價に供給し、或は又パインアップル其他の果樹は將來罐詰として國外に輸せしむることも得べく、罐詰の輸出は漸時商工業方面に發展せしむることを得べし。

結 論

以上述べるところ四項、之れを要するに、ダバオの單一産業の危険を避け、新なる事業にして急に應じ開始し得らるべき副業中、同地邦人に適せりと思惟するもの、大要を述べたるに過ぎず。故に眞の産業開發の指導は將來の研究に俟たざるべからず。

一 産業研究所の必要

ダバオ農産業は、比島としては相當發達の域に到達したるものなれども、之を蘭領印度又は我が臺灣に比すれば未だ甚だ幼稚なるものにして、その完成は全く將來のことに屬す。これその耕地一

町歩當りの年收穫三百餘圓を他國に於ける數千圓なるに比すれば明かなるべく、又是が充分に開發せられたる曉に於ける富力の如何に大なるかは想像に難からざるべし。

然れども、在留邦人は、從來の自己の事業經營に全力を注ぎ他を顧みるの暇なく、一つの農業試験場をも有せざる彼等は、多少その事業の改良に努力しつゝあるも其效果至つて少く、其の研究なるものも、徒に勞力と資金を消費し去ることとなること多し。故に彼等の爲めに農事試験場と工業試験場とを兼ねたる産業研究所を建設し、經驗ある技師を派遣して之が研究指導に任ずる時は、今日の邦人産業は、その豊饒なる地力と相俟つて蓋し目覺しき發展をなすべし。此點に就いては尙別に詳細に報告せんとす。

二 金融機關の必要

目下ダバオ州に活躍しつゝある邦人の多くは、元是れ何等の資本を有せずして徒手空拳を以て遠く異郷に涉りたる農民にして、他の多くの邦人海外殖民地が、政府又は資本家の投資によりて始めて開拓せられ、多大の經濟的犠牲を拂ひて得たるものとはその起原を異にす。

四半世紀に涉りたる彼等の努力は、異郷にありてよく四十三の農事會社を興し、評價額三千萬圓に餘る資産と年産一千餘萬圓の大産業を築き上げ、年々百萬圓乃至百五十萬圓を内地に送金しつゝ、

あり。而も彼等の今日あるは何等他の援助によりたるに非ず、彼等自身が額に汗して苦心慘愴刻苦經營漸くその事業を確立し、同地獨得の共同經營の組織によりて前記の如き大資産を蓄積し得たりと雖も、その擁せる資本は悉く麻耕地其他の事業に固定せられ、全く流動資金を缺き、その内地送金の如きは、有り餘りたる游資を送金するに非ずして、内地にある父母子弟を扶養せんが爲めに勞働者が得たる賃銀の一部を割きて困苦の中より送金しつゝあるものなり。

従つて資金の梗塞は極めて甚だしく、第一適當なる金融機關を缺き、只極めて幼稚なる一種の頼母子講を有するに過ぎず。然もその金利極めて高歩にして年三割乃至六割に及ぶもの少からず。故に速に彼等の爲に適當なる金融機關を設けて資金の融通を計るは重要なる施設の一なりとす。

三 帝國政府の補助金

我が帝國政府のダバオ移民に對する從來の保護援助の程度を見るに、數年前より漸く同地唯一の邦人醫療機關たる太田病院に對して年額一萬圓、及び日本人會經營の二個の邦人小學校に對して年額五千五百圓の補助あるのみにして、ダバオ在住邦人九千人として一人當り二圓に達せず。而もこの九千餘名の邦人の生命を保證せんが爲に、献身的の努力を捧げつゝある醫師は僅かに二名にして、その多忙なること吾人の想像以上にして、到底總ての病人に對して完全なる治療を施し得ざること

豫想に難からず。

當地の如く移民が散在せる殖民地に於ては、少くとも二千名に對して一名の醫師を必要とすべく、殊に内地と氣候風土を異にし生活様式を異にする熱帯地にありては、一層身體の保健に注意するを要すべく、之等の平和の戦士をして後顧の憂なからしむる爲には、尙數名の醫師を増聘して病院設備を一層完備せしむるを要すべし。

更に小學校の設備について考ふるに、既に述べたる如く、移民の増加と共に出生兒童數も激増し、最近に至りては毎月五十人内外の男女兒出生數を見るに至れり。然るに、目下小學校二校の兒童收容能力は僅かに二百餘名に過ぎず。到底此の激増しつゝある兒童を收容する能はず。従つて第二の國民に對して充分なる教育を施し得ざるや明らかなり。

依つて將來有爲なる帝國臣民として海外に活動せしめんとするには、更に充分なる補助を與へて教育設備をも完備せしむる必要あり。

目下我が政府のダバオ在留民に對する補助金を一人當り二圓とし、之れを他の地方に移住するものと比較するに、南米ブラジル渡航者の受くる補助金は、一人當り渡航費二百圓及び諸種の保護費約五十圓にして、尙同じく南洋にある隣島ホルネオ、タワオの邦人殖民地は在留民約三百四、五十名に對して年額約三萬圓、是亦一人當り一百圓にして、これらに比してダバオ移民の受くる處は

その數十分の一にも達せず。等しくこれ陛下の赤子たる帝國臣民にして國威を海外に發揚せんとする同胞に對してその保護の輕重の差かくも大なるは妥當ならざるべし。宜しく彼等に對しても相當なる補助に均霑せしめ以て各地の移民に對する待遇を公平にし、ダバオ邦人の産業の發展を期すべし。

之を要するに病院並に小學校に對する設備補助増加も必要なると共に、目下の急務としては完備せる産業試験場を建設して、勞力と資力とを徒費することなからしめ、充分にダバオ州の肥沃なる地力を活用せしめて、完全なるダバオ産業の樹立を期するにあり。

四 ミンダナオ島の開發

更にダバオ州を含むミンダナオ島の現状を見るに、同島は比律賓群島中ルソン島に次ぐ大島にして、面積三六九〇六平方哩にして我邦の北海道より稍々大に、臺灣の三倍に相當す。然も地勢概ね平坦にして平原並に高原よりなり、湖水、河川、港灣に富み、降雨量潤澤にして氣候温暖、地味豊饒なる爲、各種の植物よく繁茂し、全島總面積九百八十五萬町步中農耕適地はその六割に達し、約五百八十一萬町步にして、殆んど本邦の同農作耕地面積に等しく、到るところ熱帯産物に富むに拘らず、人口僅かに八十萬。然もその大部分は蕃人にして農商を解せず、現在開墾せられたるは三十

九萬町歩にして農耕適地の二十分の一に達せず。然もその耕地中の三萬餘町歩は邦人の努力によりたるものにして、他は豊穰なる天然富源を未開拓のまゝに放任す。

比島政府に於ても、近時漸くミンダナオ島が南洋の寶庫なるに氣付き、之を開發せんとして諸種の研究調査の歩を進めつゝあるも未だその緒につかず。比島人は如何にして之を開拓すべきやを知らず。或は之れを知るも、熱帯に生育せる比人の習性は、蠻地開拓の如き困苦と努力とに耐ゆることを得ず。政府が如何に獎勵するも、ミンダナオ島の廣大なる富源は依然として未開拓のまゝ、残されつゝあり。

然るに一方我が邦人の殖民地は、僅かに一萬人弱の人口、即ち全島人口の約百分の一を以てよくその全農産額の四分の一を生産す。故に比島政府のミンダナオ開發の計畫を援助し、ダバオ州開拓の餘力を以て、邦人の手によりてミンダナオ全島を開發するを得ば、その廣大なる面積と豊富なる天然資源とは、行詰りつゝある我が人口を容易に消化し得べく、必ずしも遠く數千哩を離れたる南米に年々數百萬圓の補助金を與へて移殖せしむるの要なく、我が臺灣の南僅に百哩の地點にある比律賓群島に、年額數萬圓の補助を與ふるのみにしてよくその目的を達することを得べし。

然るに、邦人識者中にありて説をなすものあり。曰く、「比島は米國領なる爲め、排日移民法並に新土地法の關係上邦人の大なる發展は到底期し難し」と。然れども、これ全く一知半解の見にして、

誤れるの甚だしきものなり。即ち現今の比島は米國領にして、軍事並に外交に關しては比島の利益に反せざる限り、米國が之が實權を掌握するも、内治は比島人民の普通選舉による上下兩院議員を以て組織する自治制を布き、米人總督は單に之が決議に對し或る程度の否認權を有するに過ぎざるものにして、産業方面に於ては全く獨立國たるの觀あり。

従つて、人種的偏見より生じたる米國加州の排日移民法の如きは、全然本島に於ては施行せられざるのみならず、將來も亦斯かる恐れも尠く、寧ろ同じく東洋人種たる人種的近親關係と利害を共通にする境遇とは、將來益々親睦の度を高むることを期待し得べし。

尙一九一九年度に實施せられたる比島新土地法に關しては、官有地の拂下又は租借をなしうる者は比島人、米人、並びに比島又は米國の法律の下に組織されたる法人にして、其の株式の六割一分以上が比島人又は米人の手にあるものに限り、個人にありては百四十四ヘクタレス以下、法人にありては一千二十四ヘクタレス以下を拂下又は租借し得ることを規定したるものにして、我が日本人のみにて組織したる會社は、將來官有地の拂下又は租借をなし得ざるに至りたるも、この法律の目的はにし小數資本家が廣大なる地域を獨占せんとするを避くる社會政策的見地より發布せられたるもので、獨り日本人の移民並に土地所有に反對せんとするものに非ず。而して私有地の買入又は租借に就ては何等の規定なきを以て、米比人の私有地を買受けて邦人が之を開拓する事毫も差支なき

のみならず、既述せるが如く、比島人は到底新天地を開拓するが如き創業的事業に適せず。故に米比人の資本家にして日本人を其の耕地の支配人組頭又は耕作請負人として雇用し居るもの多く、現在邦人にして比人及米人の所有地を耕作し居る面積は四千四十六町歩に達し、同じく蕃人の土地七百八十町歩を耕作しつゝあり。而して、これ等の耕作請負制度に於ては、原始林の開墾、麻苗の植付等は全部請負人に於て負擔するが故に、彼等は收穫の一割五分を地代として地主に支拂ふのみにて他は、全部請負人の収入となり、麻株の所有權も亦請負人にあるものとす。

故に、之等の方法を以てすれば、邦人發展の餘地は殆んど無限と稱すべく、又比島人の利害より見るに、元來比人は一般に資本を缺き、獨立の耕地を直營するが如きは不可能なるを以て、邦人請負人の力を借りて開耕し其の地代を得るの利あり。而して又一方邦人請負人は、其下働として比島労働者を雇用するが故に、邦人は比島地主及労働者の兩者に對して、利害決して相反することなく、如實に共存共榮の實を擧げつゝあり。

例へば、最近當州に於ては所謂土地熱勃興し、比人にして官有地を買入れ又は租借するもの頗る増加せるが、是等は總て邦人請負人に開墾せしむるを目的として土地を得つゝある現状を見ても知らるべし。

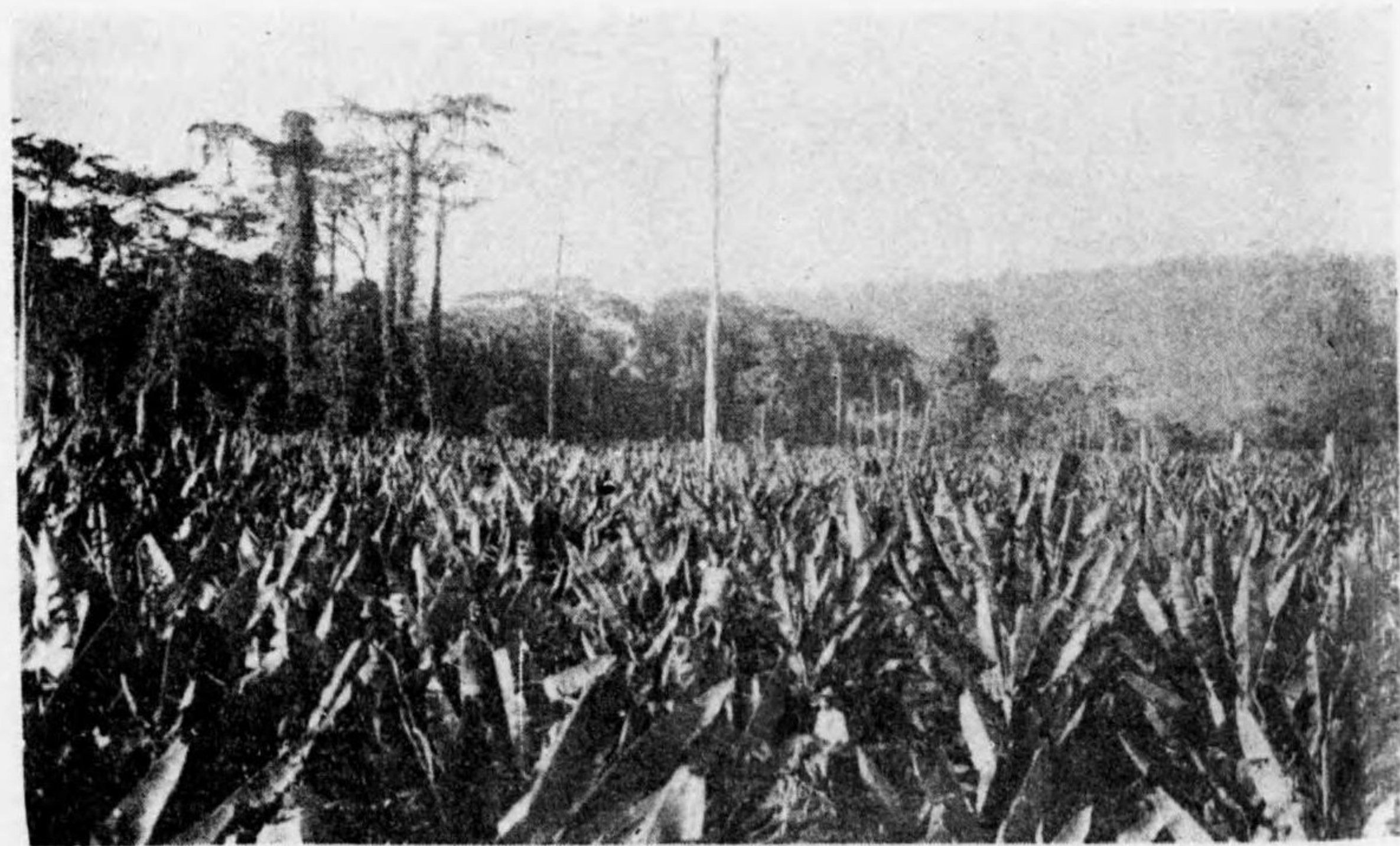
而して、邦人會社及請負人が雇用せる比島人社員及労働者數は、現在三千二百人、其の賃銀年額

約二百萬圓に達するを見ても、彼我利害の共通せるを見るべし。故に邦人として今後もよく比島人と誠意協調を保ち、努力を怠らすんば、其の發展の前途は蓋し洋々たるものあるべく、目下比島經濟上の大問題たるミンダオ開發は、恐らく邦人の力によりて大成せらるゝに至るべきを信ず。

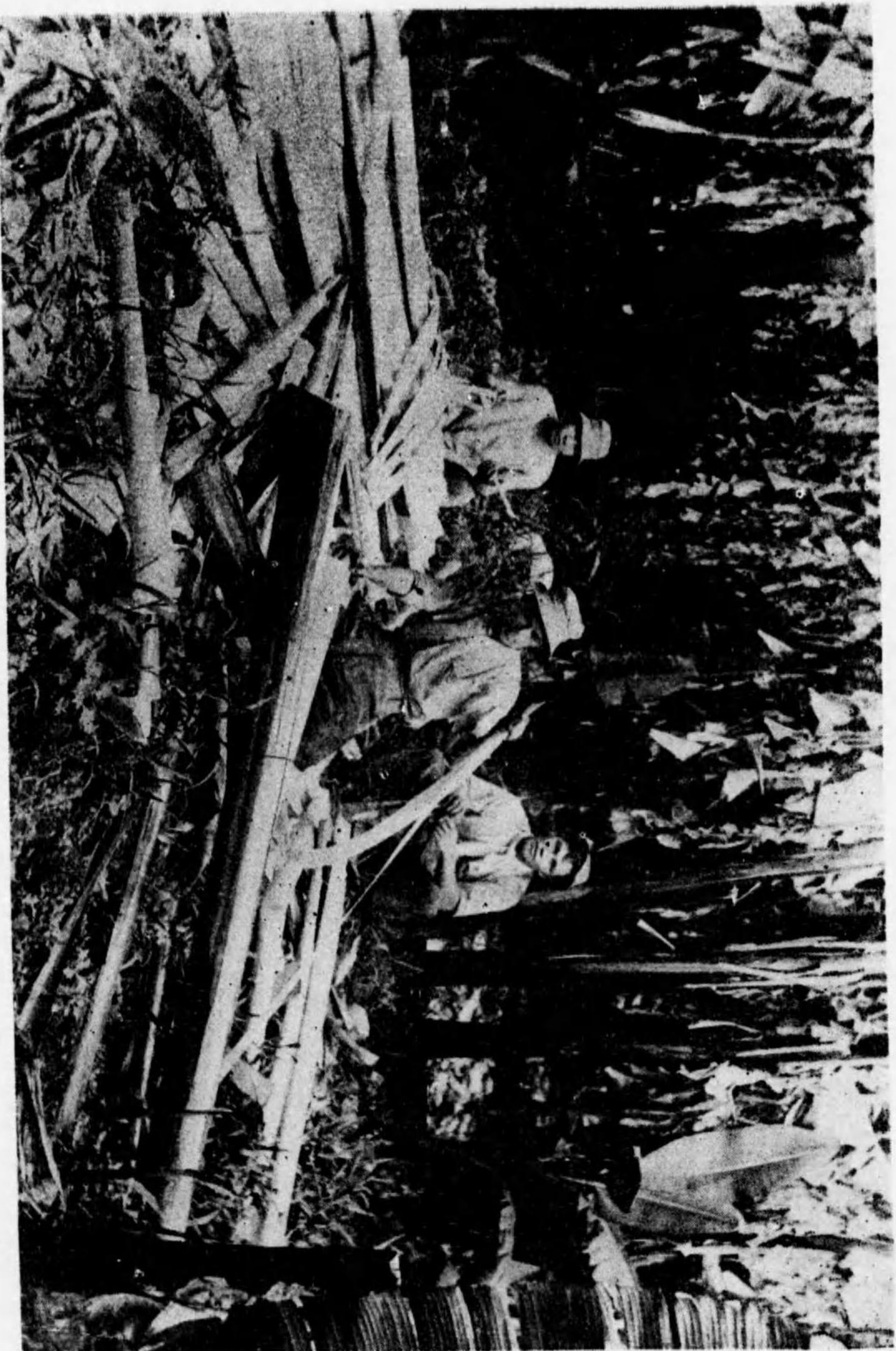
而して、これ獨り我が産業の發展、食糧問題、人口問題等解決の關鍵たるのみならず、又以て我が南隣の友邦たる比律賓群島の産業を助長する基となり、その國富を増進せしめ、以て兩國を裨益し、日比親善を一層確保するの捷徑たるべし。



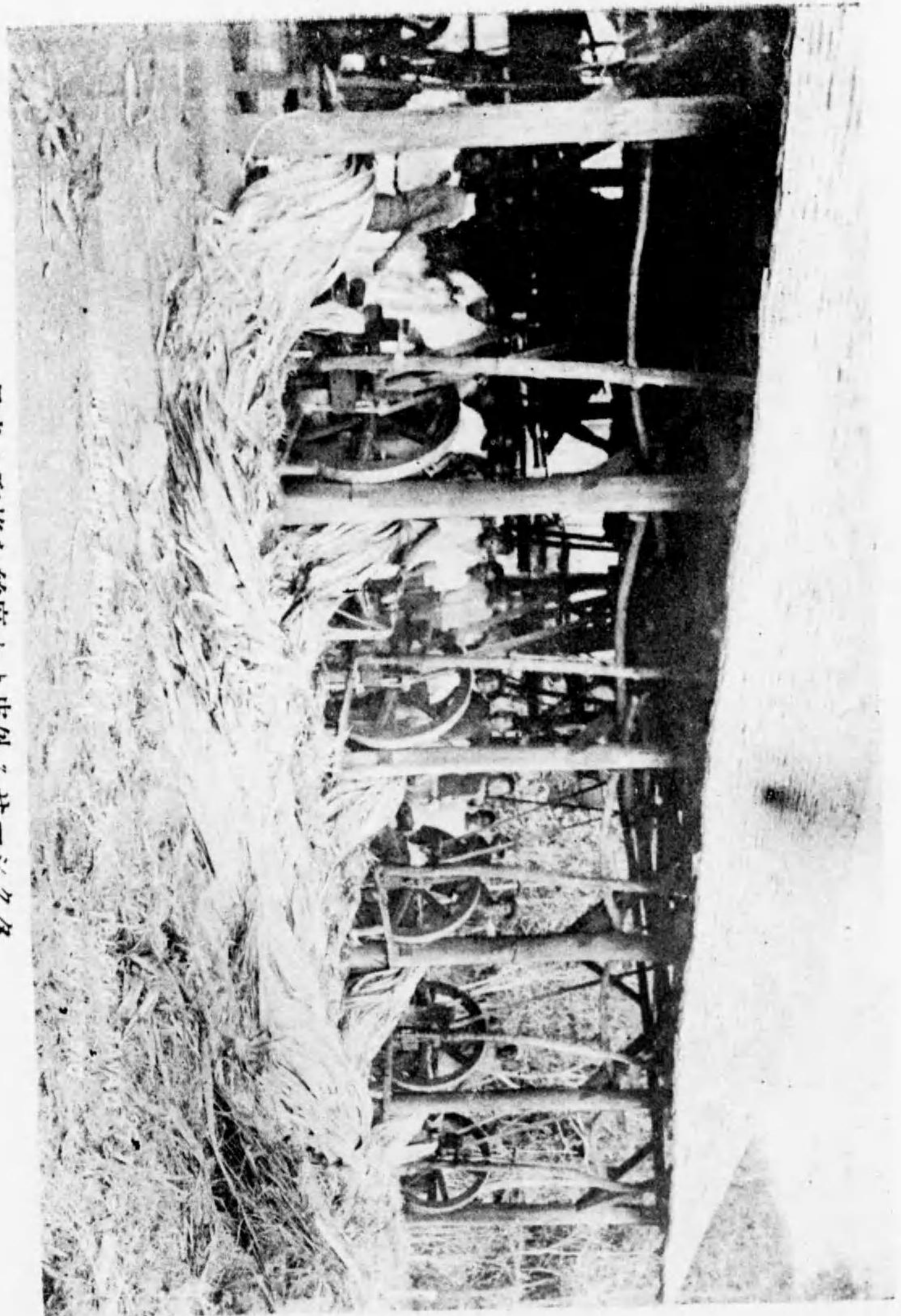
む望を一ポアにか遙りよ岸海のモロタ



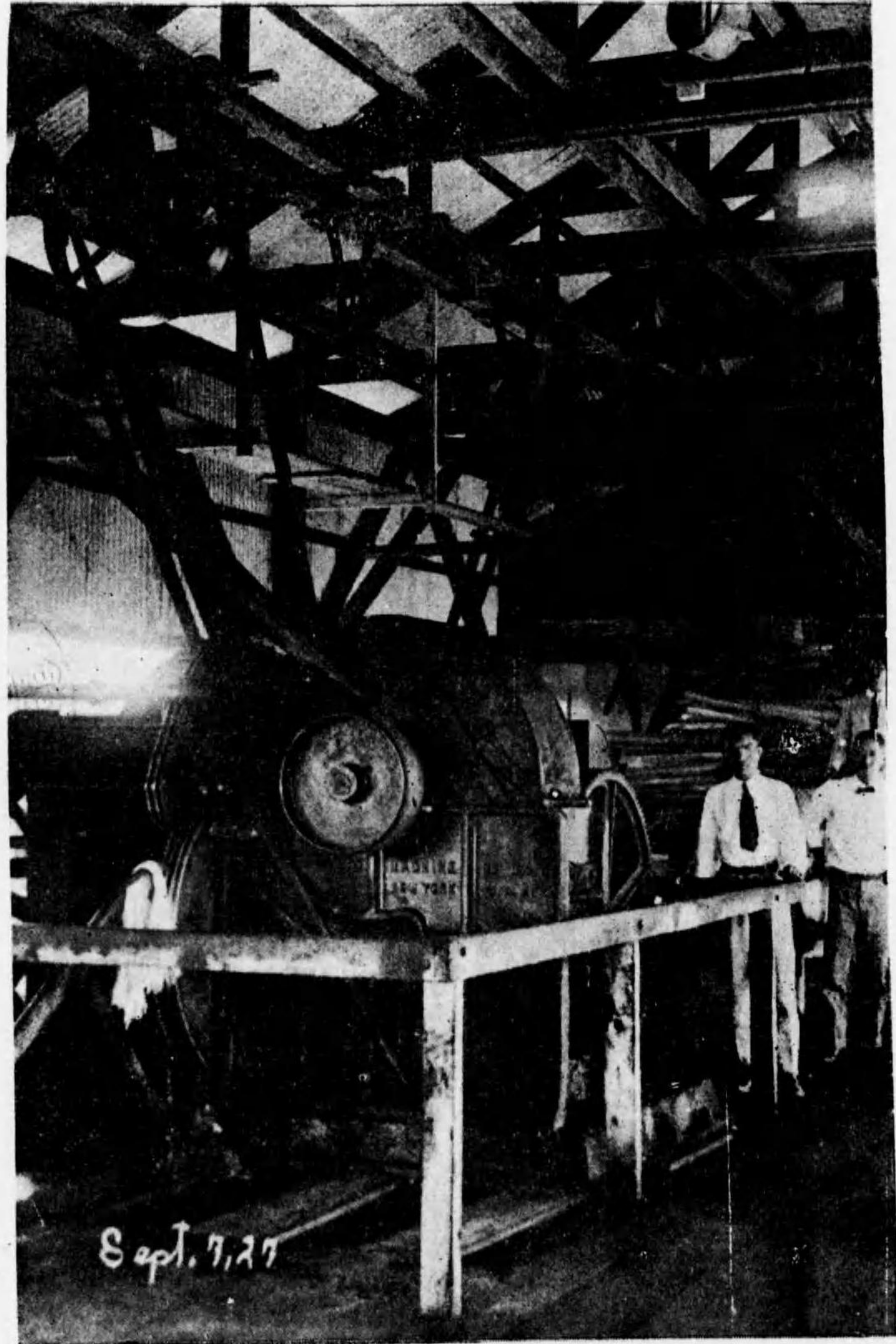
畑麻の月箇十後付植



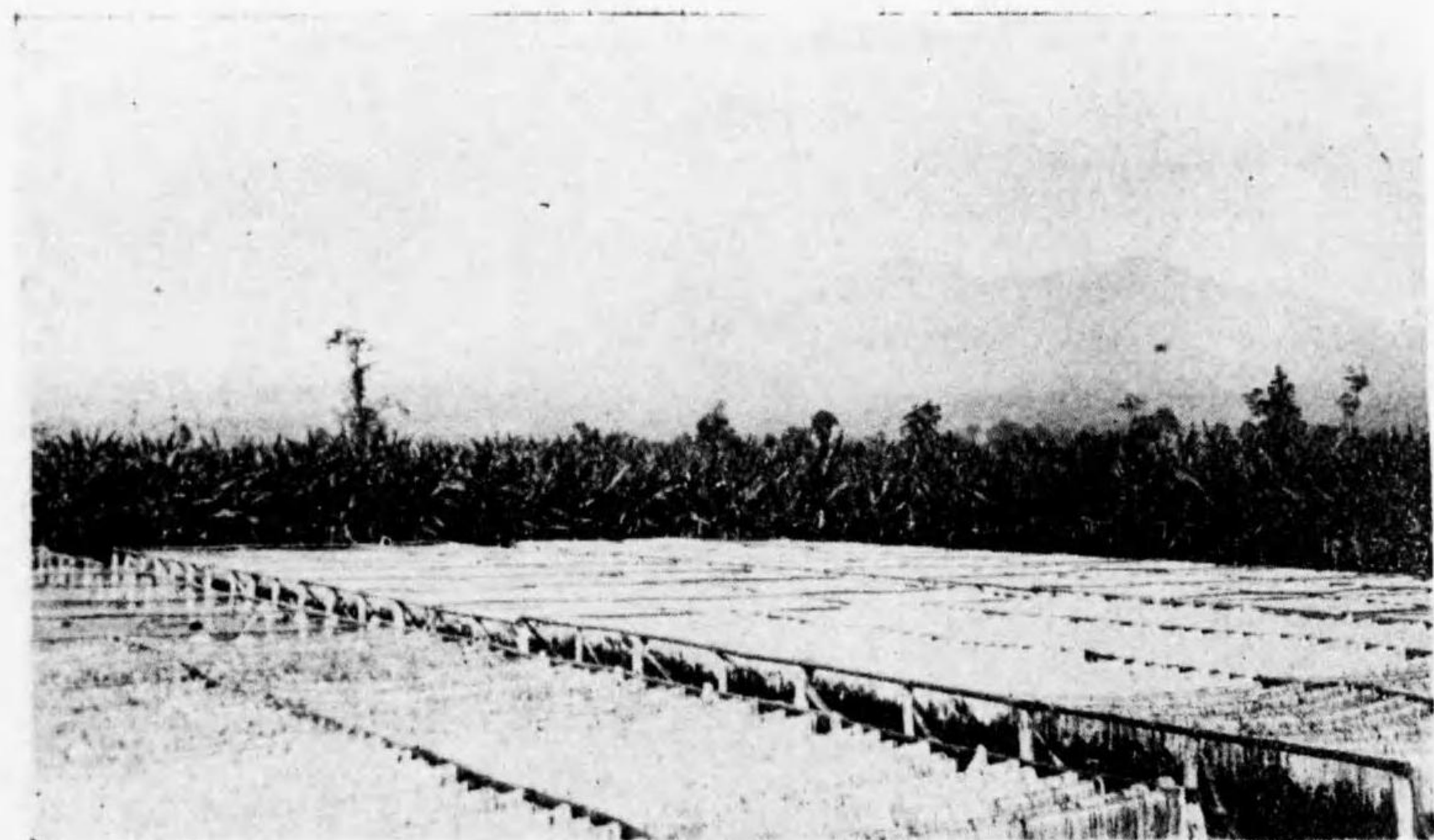
景光の(業作取剥皮外)シクダ麻



景光る取挽を絲麻りよ皮外るせーシクタ



機挽麻式新るす稱ミシマ・ートエリブ



マニラの乾燥麻の光景



バダ州に於ける日本社会椰子園

附 録

昨年十月二十六日夜半より二十七日拂曉に掛け猛烈なる旋風起り、爲めにダバオに於ける邦人は非常なる打撃を受けたり。左に記載するダバオ日本人會々報號外は、當時ダバオ日本人會が、旋風の被害を報じ、其善後策を論じ、在留邦人に訴へたるものにして、同地方に在留する邦人が、協力一致して事に當れる實情を最も能く説明するものと信するが故に、此處に之れを再録することゝせり。

會 報 號 外

(昭和三年十月三十日)

當地邦人麻耕地に於ける強風被害の慘狀を報じ

在留同胞諸氏の同情心に訴へ、切に自發的援助を望む

|| 損害見積額一・百・萬・比・に・上・ら・ん ||

去る二十七日午前一時頃より同五時半頃迄約四時間半に亘る強風マナンブラン、パンカス方面を

中心に、麻山各耕地を襲ひ、邦人麻事業者の蒙れる損失莫大にして、被害麻株数は二百萬と概算せられてゐる。此の不測の災難に、折角多年苦心慘憺して育て上げたる麻山は一朝にして荒野と化し、其の慘状は目も當てられず。天災地變は不可抗力にして人力の奈何とも爲し能はざる所とは謂へ、同胞罹災者各位に對しては實に同情の念に堪えざる次第である。

今左に本會にて調査せる各耕地別麻山被害の状態を表示せば

耕地名	(植付麻株數)	(被害麻株數)	(被害の最も大きい人々)
一、バ		三〇、〇〇〇	伊藤新助氏一萬、山内盛順氏七千。
一、イ		一〇〇、〇〇〇	蓬田啓助氏一萬、清水牧太郎氏七千、會社直營四萬。
一、マナンブラン	七六〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	會社直營十五萬の内十四萬株。
一、ツキンリバー	二三八、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	殆んど全滅、被害植付麻株數の九割。
一、ム	三〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	植付麻株數の五割、一般自營者。
一、ダリア	四五〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	未だ成熟期に達せざる新山多きため比較的被害少し。
一、トンカラ	四三〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	植付麻株數の六割。
一、南	一八〇、〇〇〇	四五、〇〇〇	兩耕地共各被害二割五歩見當。
一、マヌエル	四〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	淺井庄一氏所有麻四萬五千株殆んど全滅。赤峰龜
一、ローヤン	六〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	及び上原盛榮兩氏は所有麻各四萬の内被害二萬宛。
一、ウ		一八〇、〇〇〇	會社直營十萬、一般自營者八萬(新山)
一、ビ		二〇、〇〇〇	
一、ギヤシ		三〇、〇〇〇	

◎合計百七十九萬五千株

尙此の外に、本號外發行迄に間に合はざりし未調査の耕地タギア、リバーサイド、アルカンタラ、拓南、ノースタロモ、ミントル、其他の被害株數を合算すれば、優に今度の強風による被害麻株總數は二百萬に達するであらう。

而して、被害耕地に於ける現下の最大急務としては、足の踏み場も無き迄に倒れてゐる二百萬株からの麻のトロス(莖)を、一刻も早く處理する事であるが、何を云ふにも二百萬と云へば千株當り三十ピコの麻が出るとして六萬ピコに上り、如何に同耕地方面の人々が晝夜兼行で麻の挽出しに努力するも、恐らく其の半分をも取りとめ得まいとの事であるが、今假りに被害麻の半數、即ち三萬ピコを腐らすものとすれば、一ピコ十五比と見ても實に四十五萬比に相當する莫大なる麻を、人手が足らぬばかりにミス／＼損失する譯であつて、吾々はお互ひ日本人として到底此の同胞の窮狀を傍觀してゐる忍にびない事である。

本會に於ては、今度の災害が同地方邦人麻事業者にとつて致命的の大打撃なるに鑑み、齋藤領事及び本會の最高幹部一同は、之が應急策に就き協議の決果、直ちに全員大活動を開始し、被害地の實狀視察調査を遂げると共に、被害を免れたる近隣邦人各耕地を巡り、雇主の了解を求めて労働者の

勧誘に力める傍ら、斯る場合によく起り勝な労働者の奪ひ合ひ、及び之に伴ふ無茶な労働賃金の値上等の弊を未然に防ぐ爲め、一般臨時雇労働賃金の協定を計り、一方東海岸方面には事務員を急派して極力労働者のかり集めに努力しつゝあり。

就ては、幸にして災難を免かれたる邦人各位に於ては、此際出来得る限り労力の供給に盡力され、不慮の災害に困窮してゐる夫等の同胞を救ふべく、在留邦人一同協力一致打つて一丸となりて事に當る麗はしき同胞愛の發露を切望して止まない。

ダバオ日本人會

會報號外

(二) (昭和三年十一月二日)

強風吹き去つて荒野に咲く

麗はしき人情の花!!

弱みにつけ込む怪しからぬ不徳漢!!

十月三十日發行會報號外にて既報の如く、今回の大風害は未曾有の大損害を及ぼし、罹災者各位に對しては各方面邦人間に同情の念を生じ、ウラー、ギヤンガ、ピアオ、タロモリバー、上ピヤオ方面の會社及び自營者の内、災害を免かれたる諸氏の内に

は本日迄四日間無報酬にて被害麻の挽取りに加勢され、其他西部方面各地よりも、領事館及び日本人會幹部の勧誘によりて續々被害地に應援者を送り、ラサン、ブナワン方面では本會成田書記の募集に、荒木、大塚、高田諸氏等の援助を受け、即時三十餘名の應募者あり、實に涙ぐましくまでに熱心救済に努力せられつゝあるが、一方トンカラ方面の或者の中には、日給四比以上、月給ならば八十比以上を要求し、挽分けならば全費用麻山主負擔にて五割、六割の無法の高歩合を吹きかけ、若し雇主が之に應ぜざる時は罷業的態度をさるゝ云ふが如き不穩なる行動に出で、バンカス支部長園田喜五郎氏の調停にて漸く就業するに至れり。又ウラ方面にては雇主の麻山が大損害を受けたるを見るや、直ちに其の家を立退き他方面に行くもの等多數ある模様にて、彼此比較して其の心情に雲泥の差あるを見、實に慨嘆に堪えず。目下各耕地より應援を受けつゝある秋に際し、主家の窮状を見捨てて他に去るが如き不徳漢、は今後何等かの方法を以て相當の社會的制裁を加へる様致さざる可からず。

罹災地救済の焦眉の急たる人員募集に就ては、本會に於ても出来得る限り盡力するも、到底急には必要だけの人数を得る事は不可能と思はれるにつき、罹災地に於ても人員争奪等の醜き暗闘を起さず、各自落ちつきて其の最善を盡さん事を切望す。本會は取敢えず、委員長上原仁太郎氏、副委員長園部寅之助氏、松本勝司、村上忠二、柏原達象、高山辰次郎の諸氏を委員に挙げ、領事館の援助を仰いで東海岸デゴス、パダダ、マグナガ、パンガシナン、パンツーカーン、キンキン、其他へ領事館員、本會幹事及事務員手分けして出張し、事情を訴へて極力人員の大募集に奔走しつゝあり。

◎罹災耕地に於ける一時労働賃金協定

十一月一日午前九時より罹災耕地の代表者、岡田幸太郎、園田喜五郎、石田幸成、岡田(ローヤン)の諸氏、タロモ太田會社に於て罹災地に於ける労働賃金の協定及び募集人員の配附等に就き協議あり、齋藤副領事、上原、松本兩副會長、宮坂、高山各幹事立會の上、左の如く協定せらる。

一、賃金協定(本協定賃金は罹災耕地のみに限り、他耕地には之を適用せず)

日給及月給——従來のものより三割増し

請 負——最高一ピコに付金六比五十仙(但しトンバ及び燃料は麻山主負擔のこと)
挽 分——地租及び運搬賃を差引たるものの四割。

二、要求人員申込

◎マナンブラン方面——二百名。ムリグ方面——二百十名。ローヤン方面——七十名。其他不明。

◎注意——兎角アラシカ麻は品質の落るものなれば、此際出來得るだけ上等麻を挽き出し、ダバオ麻の聲價を墜さざる様注意せられたし。特に目下の處上級麻は多少値段よきも、下級品は甚だ安く、麻山主にも挽分者にも上等麻を産出する方遙かに有利である。

◆應募人員の配附は一般自營者を先にし、會社直營は後廻しにする事。

◆罹災耕地邦人各位が、比人労働者を雇入る、際には相當信用ある者を選び度く、身元不明の口等をやたらに雇入る時は種々の事件を惹き起す恐れある故特に注意せられたし。

◆應募者各位は、労働衣、簡單なる寝具、ボロ、タキシ、其他麻山の必要品を出來るだけ持参せられたし。

◎バヤバス支部に於ける協定

一、七十人被害地に向け出動す。

二、當分開墾、家屋建築、其他新しき事業は一切中止すること。

三、向ふ一ヶ月間、日比を間はすヘンテは絶対に雇入ざること。

◎本會の募集に對し率先して應募されたる方々は、ラサン松岡、マドアオ、ラサン神山の各支部會員諸氏にして、其の大部分は自營者であり、中には矢張可成の被害を受けてゐる人もあるが、パンカス方面の被害の甚大なるに同情し、おして加勢にやつて來たと云つて居られた方もあつた。眞に麗はしい心情ではないか。

緊急會議

今回の大風害は未曾有の大損害をギヤンガ中心の諸地に及ぼし、之が善後策に付ては各自率先して義奮的に應援に俟つべき重大問題に有之候間、今回比較的被害尠なき方面の支部長、評議員並に自營者會長聯合會を緊急開催度候條、萬障御繰合せの上、三日(土曜日)午前九時マナンブラン會社事務所にて御參集被下度此段御通知申上候也

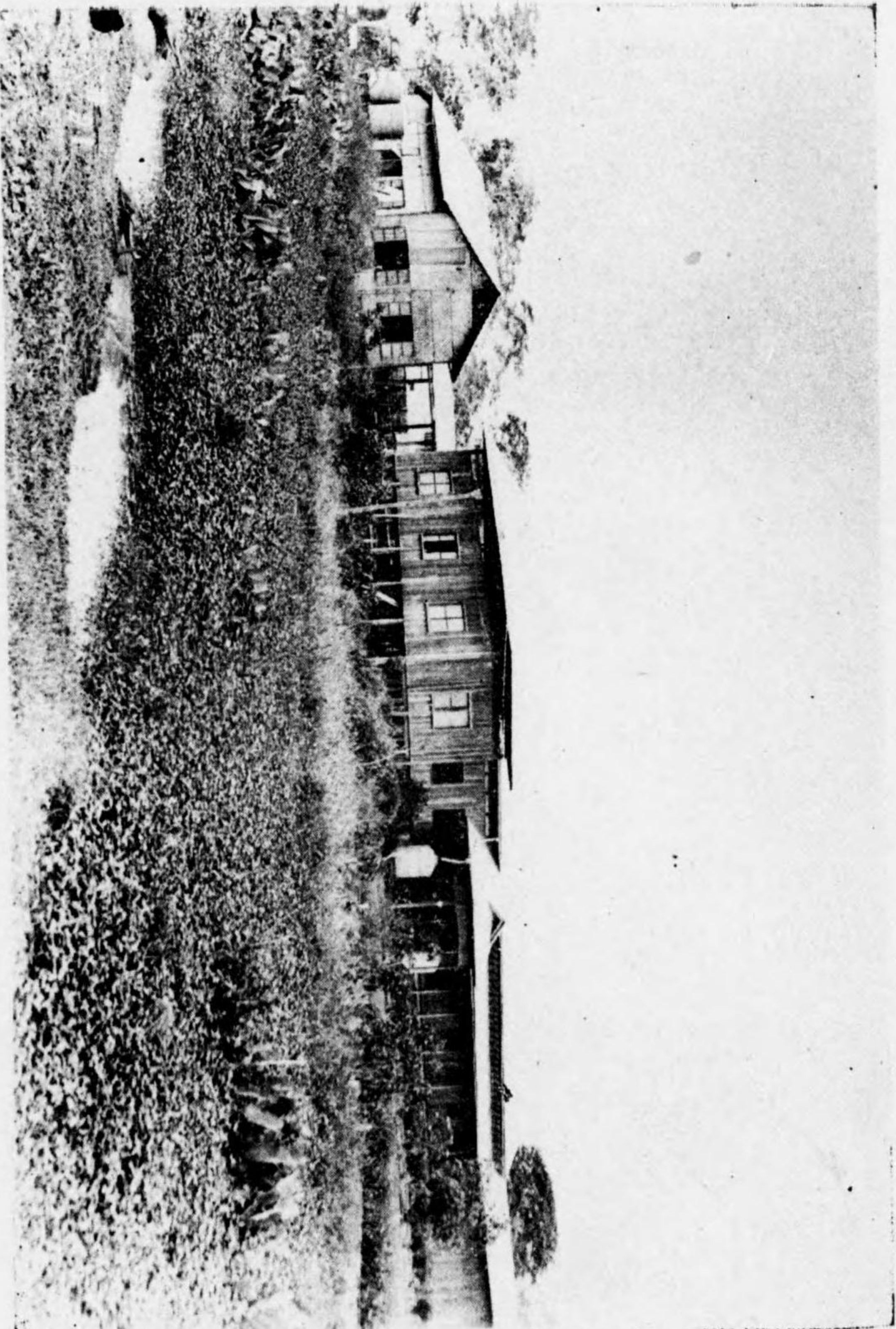
尙當日は時間勵行、各自辨當御持參被下度候 勿々

十一月二日

ダバオ日本人會

ダ比
バ律
オ在
住賓
邦人の保健に関する意見書

北極地帯人の生活の調査とその意義



院病營經社會業興田太るけ於にオバダ

比律賓邦人の保健に關する意見書
ダバオ在住

目次

緒論.....一

一、移民衛生思想啓發機關の創設.....二

二、給水の改善.....三

三、野菜果樹の栽培奨励.....四

四、麻刺利亞豫防施設.....四

 1 「キニーネ」内服法.....五

 2 煙烟噴霧法.....五

 3 殺蚊隊組織.....六

五、診療機關の改善.....六

六、高山轉地療養場の設置.....八

目次

比律賓邦人の保健に關する意見書

緒論

一度書を繙き、熱帯地殊に未開發時に於ける熱帯移民の衛生狀況を探ぬれば、瘴癘の爲め、如何に夥しき人類の犠牲を拂ひしかに一驚を喫せざるものあらざるべし。當ダバオ地方に於ても、邦人移民當初は、諸種の惡疫流行し、殊に麻刺利亞、黒水熱、赤痢、脚氣等の發生四時絶ゆることなく、諸般の産業は醫事衛生を疎外しては到底その成功を期し難きを知り、同地開拓の先覺者太田恭三郎氏は、已むなく大正六年十一月、同地唯一の邦人醫療機關たる太田病院を開設し、爾後年々數萬圓の缺損を忍びて、よく今日に至る迄之を維持したるは、本邦の南洋植民史上其の功没すべからざるものなりとす。爾來幾星霜、移民の増加、産業の發展と共に、先進の努力勵精、衛生施設の著手、移民の自衛心と相俟て年を追ふて病没者の數を減じ、嘗ては年々數百名の病没者を見たるも、最近に至りては、一箇年七、八十名に過ぎざるの好成績に至りたるは洵に欣快に耐えざる處なり。然れ共、之を一葦帶水なる我が臺灣現狀に比すれば尙著しき遜色あるを免れず。將來本邦移民發展の好適地たる比島ダバオ州に於て、安んじて其の業に著かしめんとせば、衛生施設の改善を要するもの

尙數種ありとす。

而して、當地は宗主權米國に歸し居るを以て、衛生諸般の事項、殊に公衆衛生に關しては、其の施設、區處共に政府の爲す處に據らざるべからず。然れ共、その實施を見るに、本邦内地或は臺灣等に比して頗る不備の點多く、特に邦人移民の居住地は、蕃族の地に混じ或は之に接近する等の爲、地方病撲滅に對する政府の施設殆んど見るべきものなきを以て、邦人の衛生狀況の改善は、主として自力を以て之に當らざるべからざるを認む。左に些さか私見を述べ、同地保健施設に對する參考に資せんとす。

一 移民衛生思想啓發機關の創設

當地在留邦人の起源を尋ぬるに、一九〇三、一九〇四兩年度に涉り、比島政府が六百萬圓の巨資を投じてマニラ市の近郊「バギオ」に、高山都市を建設せんとし、有名なる「ベンゲット」道路二十五哩を開鑿するに當り、比島労働者のみにては工事遅々更に進捗を見ず、爲に邦人労働者千五百名を招致して漸く之を完成したるも、道路工事竣成の曉彼等がその職を失せん事を憂ひその失業者を救はんが爲に、比島移民の失業者故太田氏等が、明治三十七年九月、その内の百八十名を當ダバオ州に移植したるに始まり、爾後漸く當地の氣候良好、土地肥沃にして、マニラ麻栽培事業の有利なる

事判明し、毎船渡航者の數を増し、遂に一萬人近くを算するに至りたるものにして、その在留民の多くは徒手空拳を以て渡航したる農民にして、衛生思想に缺けるが故に、當地日本人會の事業の一として、或は既設邦人病院の一分課として時々各耕地を巡回し、衛生講話或は衛生活動寫真供覽等を爲し、消耗率の最も高き疾病の豫防、熱帯地方に於ける營養上の注意、流行病及び熱帯病の豫備智識竝に日常必要な個人衛生及公衆衛生の概念等を得せしむるを必要とす。

二 給水の改善

當地方の飲料水は、主として「タンク」に貯溜せし天水によるものにして、此の方法は、瘴土に於ける疫癘傳播の豫防上頗る妙を得たりと言ふべきも、他面雨水は地下水或は水道水に比し、「カルシウム」含量に乏しく、四六時中之を飲用する結果、人體内に於ける「カルシウム」の缺乏症を來すことは想像に難からず。而して、當地妊婦に重症なる惡阻つわりの比較的多くして、爲めに死に至るものすら屢々見る如き、神経疾患の多き、結核患者の豫後多くは不良なる如き、貧血者殊に麻刺利亞羅病患者に貧血の貽後症（之は麻刺利亞病本體として説明し得るものなるも、内地麻刺利亞に比し多きこと）多き如き、血液の凝固性の少きが如き、凡てその證左ならんと思料す。故に、その改善策としては、天水中に適宜の「カルシウム」分を混じて飲用せしむるか、天水「タンク」中に煮沸消毒したる

石灰石又は珊瑚礁を「タンク」容積の十分の一位投じて「カルシウム」を溶存せしむるか、或は耕地内に於ける水道（濾過河水又は湧出泉による）を設備し給水を圖るの要ありと信ず。

三 野菜果樹栽培の奨励

當地在留民の主要なる事業は、マニラ麻の栽培にして、之に亞ぐを椰子栽培及製材とす。而して、往時現地生産の食糧品の供給不充分なりし際は、その副食物は主として罐詰類にして、且勞働と營養の調和不完全なりし等の爲、營養障礙による疾病比較的多く、一時脚氣は移民の必發病たりしことあるを聞けり。

其原因に就ては種々あるべきも、「ビタミン」B 缺乏症として白米の主食と新鮮なる野菜類の供給不足は正にその主因たりしなるべし。現時に於ても脚氣の發生は比較的多く、之が爲に時々内地に歸還するの已むなきに至るものありと言ふ。將來移民の麻栽培を奨励するの傍、農作物殊に果樹野菜の栽培に意を用ひ常に新鮮なる野菜を供給せしむるを必要なりと信ず。

四 麻刺利亞豫防施設

マラリヤは當地の主要疾患にして、入院患者の約五割を占め、新渡航者は一度は罹患するもの多

く、勞働能率を低下せしむること多大なり。故に、之が豫防法を講ずるは移民保健上の急務なり。而してマラリヤの豫防法としては、從來種々の方法ありと雖も、軍隊等の規律ある集團に於ては、容易に之を實施し得らるべきも、各地に散在する農民家族に對し之を行ふは頗る困難なるを以て、その生活習慣と實行の容易なる點を考へ、廣く一般に應用せらるゝ方法を選ぶこと必要なり。

1 キニーネ内服法

從來の經驗上豫防内服法中比較的有効なるは、毎五日一〇瓦服用法、毎五日〇・七五法、毎日〇・二五法の三法にして、最後のものは獨逸植民地軍隊に於て採用せし處にして、副作用少きと同時、効果も亦若干劣るが如く、現に「ミンタル太田會社病院」の金子ドクトルの如き、當地渡航に際し「マニラ」寄港以來毎日〇・二五法を實施したるも、尙著任後約二箇月にして「マラリヤ」に罹患せし事實あり。而して邦人には毎五日〇・七五法に對し副作用あるもの往々あるを以て、毎三日〇・六法、又は一週間に二回連続して〇・六宛服用する方法を用ふるも一法なるべし。但し當地在留民間に於て「キニーネ」の亂用を往々認め、之が爲か時々黒水熱の發生を見る。又比較的「キニーネ」に習慣性ある原蟲包子携帯者を多くせしむる惧あるを以て、全身異和、或は少しの發熱等に際し不用意に之を使用する弊を改めしむるの要ありと認む。之等は一に第一項に掲げたる豫防施設に於て普及徹底せしむるを要す。

尙一般豫防法として最も簡易に使用せらるゝ方法は燻烟噴霧法に依る防蚊法を擧ぐるを得べし。

2 燻烟法

燻烟法に使用せらるゝ材料として先づ考ふべきは除蟲菊なり。而して當地に使用する蚊遣線香は、多くは内地製品なるも、價格不廉にして廣く之を用ふることは經濟上困難なる家族少しとせず。故に現地に於て除蟲菊の栽培を奨励し之を利用せしむるを可とすべし。

3 殺蚊隊組織

一定の人員を以て殺蚊隊を組織し、本邦醫師の指導監督の下に各耕地を巡回し、蚊の棲息の懼れある叢の剪除に努め、汚水、沼澤、河水等に石油を撒布し、「アノフェレス」の撲滅を圖るを要す。尙この「マラリヤ」の豫防に對しては、特に専門家の特派を乞ひてその調査の結果による根本的の對策を講ずるを要す。

五 診療機關の改善

(1) ダバオ市には、現在病院として擧ぐべきは、衛生局直轄の公立病院(約五十名を收容することを得)私立病院としての米國福音教會經營の「ミッション」病院(約五十名を收容することを得)、及び太田興業株式會社經營の病院(約六十名を收容することを得)なり。而て太田會社の病院は、邦人の

經營する唯一の病院にして、同會社永年の犠牲的努力に依り、現下邦人は最も多く之を利用し、近時六十五名前後の入院患者と八十名内外の外來患者あるも、地理の關係其他により公立病院、ミッション病院等に入院する患者も亦決して寡しとせず。

各病院の施設に於ては略伯仲の間に在るも、公立病院は四年前、ミッション病院は本年改築し、外觀上稍優れるものと、醫員及び其他勤務者太田會社病院に比し多數なり。特に看護者及びボーイ等は比島人を雇傭する關係上、其の補充容易にして且經濟的なるに比し、太田會社の病院は、常に之を内地人中に求めざるべからざる關係上、其の補充に著しき困難を感じ、且比較的多額の經費を要す。然れ共、單に經濟的見地のみよりして看護者に比人を雇傭することは邦人患者の精神的慰安に大なる影響あるを以て、將來と雖も主として邦人の醫師及び看護者、ボーイ等を採用するの必要を認む。然れ共、一營利會社たる太田會社のみを以て、之が經費の全部を負擔せしむることは會社經濟上至難にして、又之を日本人會等に經營せしむるとしても、從來太田會社に於て支拂ひたる多額の毎年度の缺損補填の費用と、既設建築物及び醫療材料を引繼ぎて之を經營すべき資力を日本人會に於て有せざる限り、將來も亦邦人の經營する唯一の病院たる此病院を補助し、醫員、看護者の増加、醫療機械の増設と病院建物の改善増築と相俟て邦人の醫療を完全に近からしむる必要あるを感ず。

(2) 當地の邦人耕地は、太田會社病院を中心として半徑十哩乃至二十哩の周圍に點在し、且輕便なる交通機關を缺き、隨時入院すること容易ならざるものあるを以て、該病院を中心として巡回診療の機關を創設し邦人の福祉を増進する要あるを痛感す。

(3) ダバオ灣に添へる東海岸地方には、全然醫療機關を缺き、ダバオ市に出づることも困難にして、假令不定期航行の「ランチ」等あるも、患者の受診又は入院には時に數日の長きを要することありて不便を感ずること多し。故に之が救濟策としては、分院の設置、巡回病院船の運航等により、灣内沿岸耕地の巡回診療及び患者の收容等に努むるを良案なりと信ず。

六 高山轉地療養所の設置

温帯に成育せるものが、永く連續して焦土に活動する時は、心身に惡影響を及ぼすこと大なるは言を俟たざる處にして、必らず時々冷涼なる氣候に接して精神を活潑ならしめ、皮膚の抵抗力を増進せしむるを要す。故に各國の熱帶植民地に於ては、高山療養所は必要不可缺施設の一となり、南亞、南米、印度帝國、蘭領東印度を始め、各地にその施設を見ざるはなく、當比島に於ても、マニラ市に對しては、米人が六百萬圓の巨費を投じて四千五百尺の高地に建設せるバギオの高山都市あり。而して、當ダバオ地方には邦人移民の最も多く集合せる「ミンタル」附近より約二十基米突の近

きに、比島第一の高峰海拔約一萬餘尺、活火山にして山姿我が富嶽に酷似せるアポの峻嶺を有し、加之其の四、五千尺の山腹には風光絶佳、一年間を通じて冷涼恰も本邦内地の初秋に似たる氣候を有する大高原を有し、所々に温泉を湧出し、保養地として稀に見る好適地なり。而してこゝに高山療養所を設置せんとせば、比較的容易なるに拘らず、未だ之を利用せざるは誠に天惠を輕んずるものにして、從來當地方患者中神經衰弱竝に呼吸器患者等比較的多きに鑑み、洵に遺憾の極みなり。將來該山地に當地移民の保健上簡素なる高山療養所を創設し、且温泉を利用し「レウマチス」、神經痛、外傷後の機能障礙患者等の後療法に一新局面を啓き、一般在留邦人の爲に、心氣一轉の轉地療養場たらしむることを得ば、頗る有意義のことにして、熱帶地移民の保健上緊急缺くべからざるものなりと信ず。

終

